

## シンポジウム

# BIM を超えてー建築生産の変革の兆し

主催：日本建築学会 材料施工委員会 建築生産運営委員会 建築生産 BIM 小委員会

後援（予定）：日本建設業連合会

BIM (Building Information Modeling) の活用においては、設計・施工から維持管理に至る建築生産の上流から下流まで、統一されたモデルデータを用いることが理想と考えられています。しかし実際の BIM 連携では、各フェーズ・職域で利用する BIM ツールが異なるため、受渡しの際にデータ変換が必要です。パソコンや情報端末の性能上の制限から、モデルデータの軽量化や部分抽出が必要な場合もあります。また、各種申請や図面承認のためには 2 次元図面の作成が求められています。さらに、広範なデータ連携は、モデルやデータの著作権と守秘義務等の問題を含んでいます。このように、理想とされる BIM 連携を実現するには、まだ多くの課題を抱えているように思われます。

その一方で、設計と施工、元請と専門工事会社などの従来の枠組みを超えて、「人と人」「組織と組織」が部分的に新しい連携のかたちをとり始める姿が少しずつ現れるようになってきました。こういった連携が進めば、現在の建築生産の仕組みを大きく変える可能性があります。すなわち、BIM モデルを基にした「人と人、組織と組織の連携」こそが、現状の BIM モデルデータ連携の限界を超えるトリガーになると考えられるのです。本シンポジウムでは、このような趣旨に沿って先進事例を紹介し、最後にパネルディスカッションを通して議論を深めたいと存じます。

日時：2014 年 12 月 17 日（水）13:00-17:30

会場：建築会館ホール（東京都港区芝 5-26-20）

### プログラム

(1) 開会あいさつ	金子智弥（大林組）	13:00
(2) 建築生産 BIM 小委員会活動報告	志手一哉（芝浦工業大学）	13:10
(3) 「施工 BIM のスタイル」施工段階における元請と 専門工事会社の連携手引き 2014	日本建設業連合会 曾根巨充（前田建設工業）	13:35
休憩 10 分		14:00
(4) BIM 適用最新事例紹介		
・清水建設の BIM 活用 歌舞伎座	松本 匠・下平貴之（清水建設）	14:10
・BIM を活用した鉄骨部材の自動加工	林 瑞樹（竹中工務店）	14:35
・ジオメトリックエンジニアリングの実践例	城所竜太（ARUP）	15:00
・建築と都市の身体性 ～3Dを用いた新しい建築のつくり方～	新居未陸・清野貴夫 （新居千秋都市建築設計）	15:25
休憩 15 分		15:50
(5) パネルディスカッション	コーディネータ 小見康夫（東京都市大学）	16:05
(6) 閉会	嘉納成男（早稲田大学）	17:05

定員：100 名（申込先着順）

参加費：会員 2,000 円、後援団体会員 2,500 円、会員外 3,000 円、学生 1,500 円（資料代含む）

申込方法：(1) Web 申込み

<https://www.aij.or.jp/index/?se=sho&id=947> よりお申し込みください。

(2) E-mail による申し込み：催し物名称、参加費種別、会員番号、氏名、勤務先・所属、同電話番号を明記し、E-mail にてお申し込み下さい。

申込問合せ：日本建築学会事務局 研究事業グループ 浜田

TEL03-3456-2051 E-mail : hamada@aij.or.jp